

# 会社説明資料

株式会社ユー・エス・エス

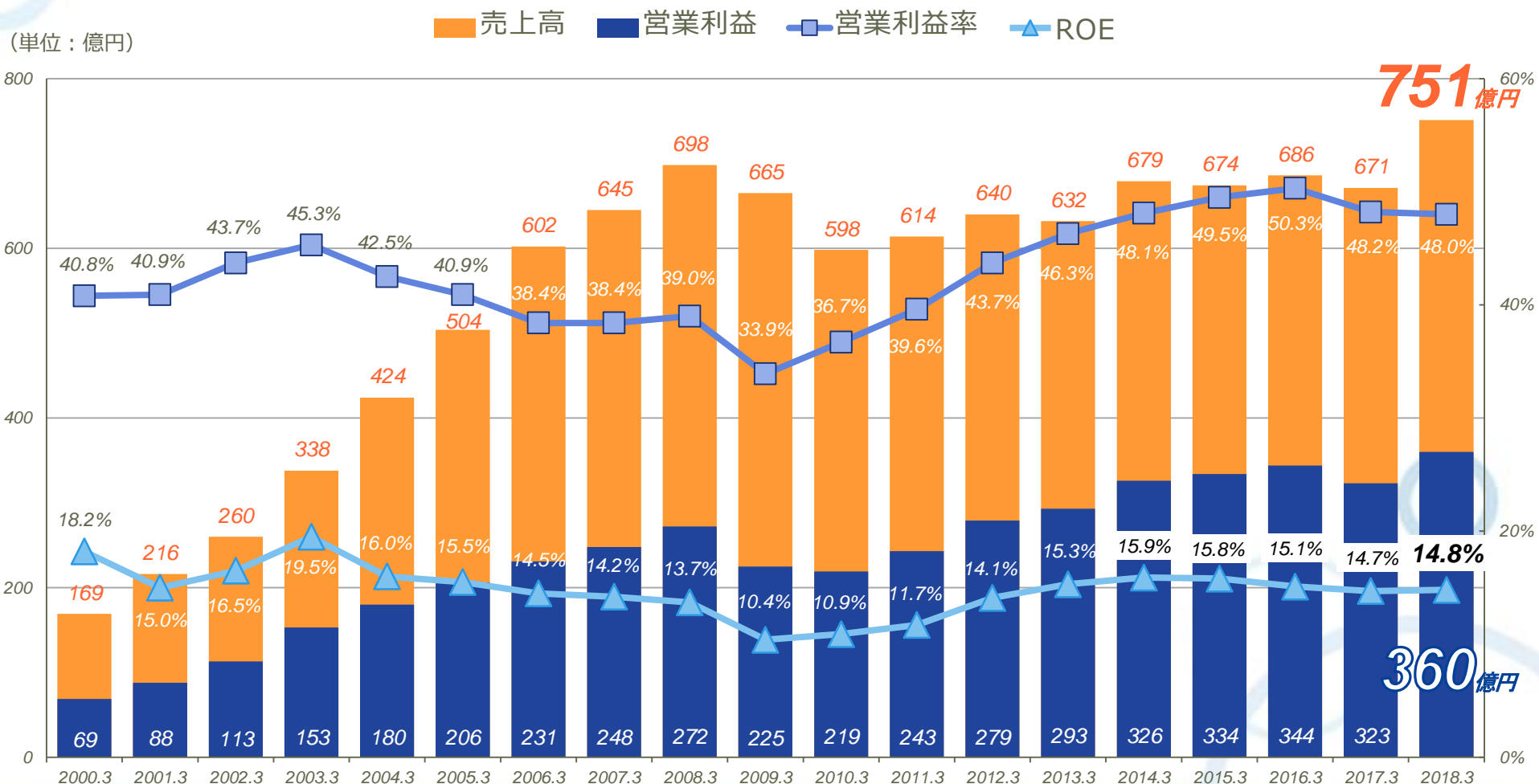
USS

代 表 者	代表取締役社長	安藤 之弘
本 社 所 在 地	愛知県東海市新宝町507番地の20	
資 本 金	188億円	
設 立	1980年10月	
従 業 員 数	正社員1,157名（グループ全体）	（2018年3月31日現在）
株 主 数	8,180名	
決 算 期	3月末日	
上 場 市 場	東京証券取引所・名古屋証券取引所	市場第一部
証 券 コード	4732	

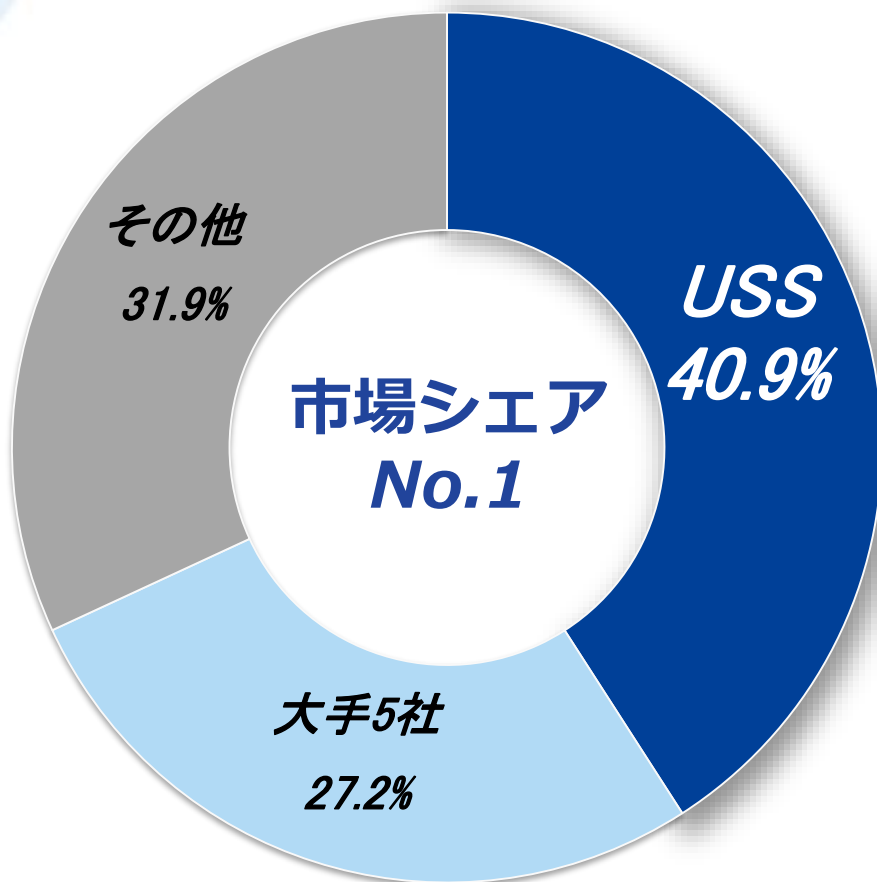
（2018年3月31日現在）

# 連結売上高・営業利益・営業利益率・ROEの推移

成長と高い収益性を実現し、**ROE15%以上**の水準を目指す。



2017年（1月～12月）市場シェア



圧倒的な会員数 47,362社

衛星TV会員 2,623社  
インターネット会員 30,337社  
(2018年3月31日現在)

会員数にJAA、HAA会員は含めておりません。

業界最大手 全国19会場を展開

2017年10月より2会場（JAA、HAA）が  
USSグループとなりました。

東京会場・名古屋会場など  
大規模会場

衛星TV・インターネットを通じた  
外部落札システム

\*USSシェアは2017年1月～12月のJAA、HAA実績を含めております。

\*大手5社：TAA(10.8%), CAA(5.4%), アライAA(4.9%), JU岐阜(3.1%), KCAA(3.0%)

1982年8月、記念すべき第1回オークションが手ゼリ方式にて開催。  
**北海道**から**沖縄**まで予想を上回る  
380人の参加者を集め、255台のクルマが競りにかけられ、  
**75.8%**という高い成約率を記録しました。

<1980年ごろAA開催風景>



<1982年8月 第1回USS名古屋AA開催風景>





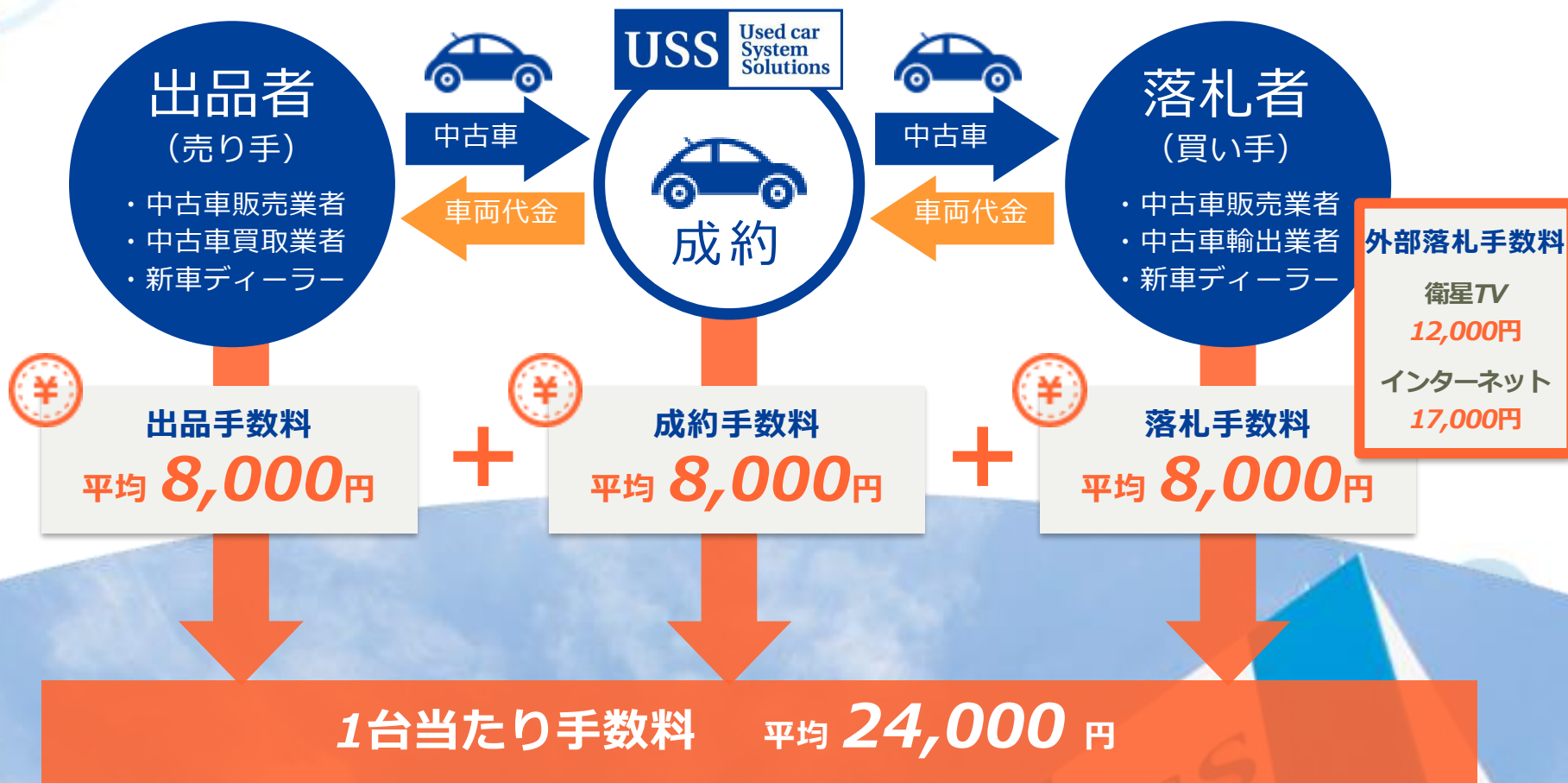
2013年8月、名古屋新会場をオープン！！

同時**10レーン方式**を採用。

名古屋会場全体の収容台数は**13,000台**となり、

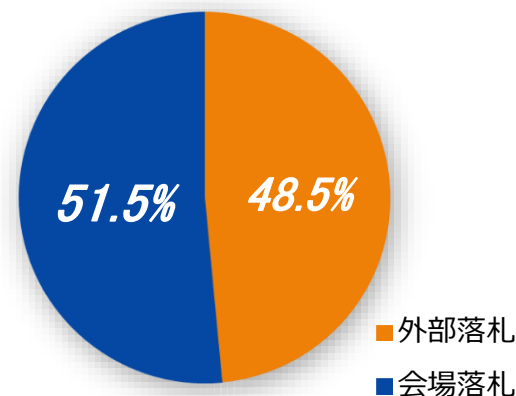
1開催当たり**平均10,000台**（2018年3月期）の車が競りにかけられます。





衛星TV、インターネットによる外部落札システムを自社開発し、運営  
月会費による**安定的な収益**を確保  
外部落札手数料は**高く設定**

2018年3月期落札比率



システム		会員数 (2018年3月31日現在)	月会費	落札手数料
現車会員		47,362社	-	平均8,000円
外部落札 会 員	インターネット (CIS)	30,337社	11,800円	17,000円
	衛星TV	2,623社	57,800円※	12,000円

※月会費内訳：リース料（6年間）24,240円、参加料33,560円



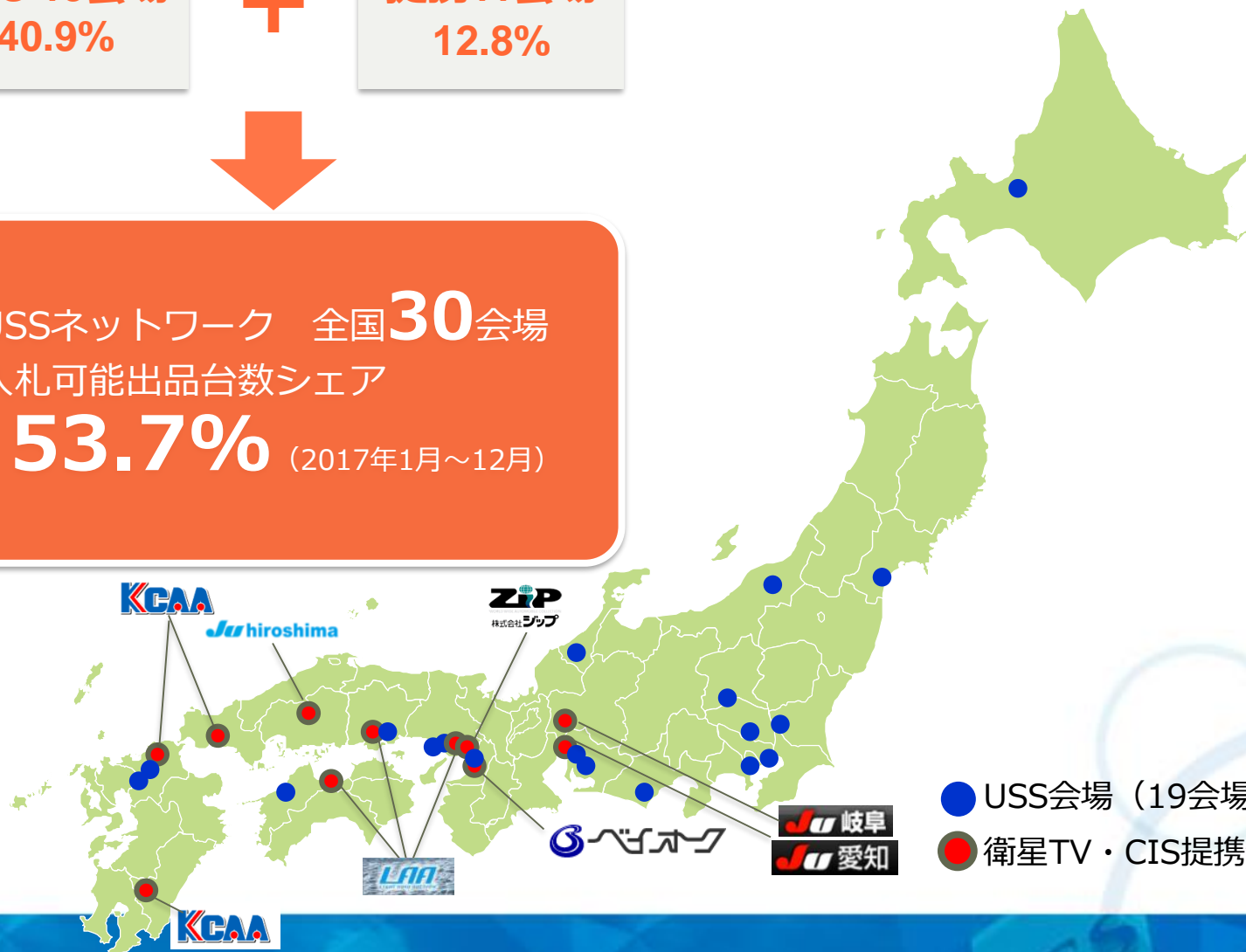
USS 19会場  
40.9%

+

提携11会場  
12.8%



USSネットワーク 全国**30**会場  
入札可能出品台数シェア  
**53.7%** (2017年1月～12月)



● USS会場 (19会場)

● 衛星TV・CIS提携会場 (11会場)

公正取引委員会より、株式会社ジェイ・エー・エー（JAA）の**株式の66.04%を取得し、子会社化することが承認**がされ、当社は2017年8月24日にJAA株式の66.04%を取得しました。さらに、2018年3月1日付で株式を追加取得をし、**100%子会社化**いたしました。

## JAAについて

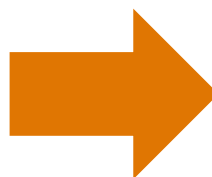
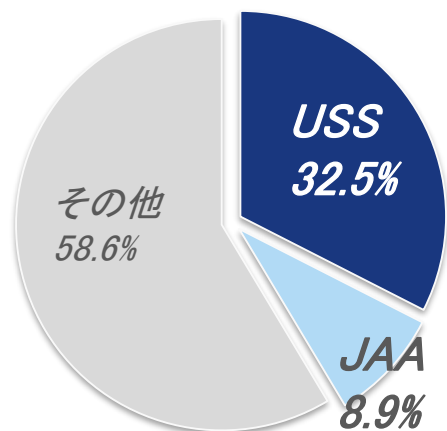
名称	株式会社ジェイ・エー・エー
所在地	東京都江戸川区臨海町三丁目2番1号
代表者	代表取締役社長 安藤 之弘（2018年3月1日現在）
事業内容	中古車オークションおよびそれに付帯する事業
オークション会場	JAA東京会場：東京都江戸川区臨海町三丁目2番1号 HAA神戸会場（株式会社HAA神戸）：兵庫県神戸市中央区小野浜町21番1号
出品台数シェア （2016年暦年）	JAA：8.9%（USS：32.5%）

オートオークションはプラットフォームビジネスであり、  
規模拡大は競争力強化に貢献する

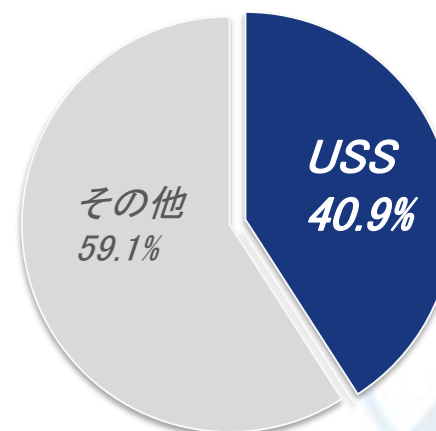
- 国内市場シェア：32.5%(2016年暦年)→**40.9%** (2017年暦年)
- 特に課題であった近畿の市場シェア：14.4%→**48.9%**に上昇(2017年暦年)
- 関東、中部、近畿の3大市場でそれぞれ40%を上回る市場シェアを獲得

## 市場シェアについて

株式取得前  
2016年暦年



株式取得後  
2017年暦年  
(単純合算)



# JAAの株式取得について③

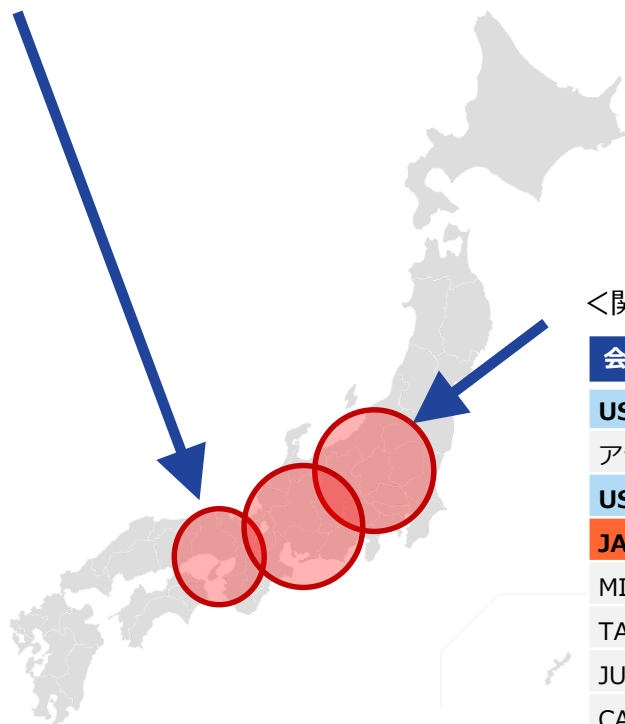
<近畿地区> 14.4%→ **48.9%**

会場名	出品台数	シェア
<b>HAA</b>	<b>472,346</b>	<b>34.5%</b>
<b>USS大阪</b>	<b>128,384</b>	<b>9.4%</b>
TAA近畿	121,524	8.9%
関西松原AA	107,150	7.8%
ベイオーク	104,637	7.6%
LAA関西	74,676	5.5%
<b>USS神戸</b>	<b>68,976</b>	<b>5.0%</b>
いすゞモーターA神戸	68,167	5.0%
ホンダAA関西	55,752	4.1%
IAA	51,966	3.8%

<中部地区> 44.0%→ **44.0%**

会場名	出品台数	シェア
<b>USS名古屋</b>	<b>513,138</b>	<b>30.1%</b>
JU岐阜	232,754	13.6%
CAA中部	187,561	11.0%
<b>USS-R名古屋</b>	<b>138,745</b>	<b>8.1%</b>
JU愛知	138,203	8.1%
TAA中部	94,304	5.5%
CAA岐阜	84,324	4.9%
<b>USS静岡</b>	<b>83,319</b>	<b>4.9%</b>
JU静岡	46,134	2.7%
ホンダAA名古屋	35,214	2.1%

- オートオークションでは、大規模な会場に出品が集まる傾向が強い
- JAAグループのHAA神戸は近畿で圧倒的な市場シェアを持ち、近畿での競争力が大きく改善する



<関東・甲信越地区> 38.0%→ **44.1%**

会場名	出品台数	シェア
<b>USS東京</b>	<b>649,830</b>	<b>24.7%</b>
アライAA小山バントラ	187,200	7.1%
<b>USS横浜</b>	<b>186,180</b>	<b>7.1%</b>
<b>JAA</b>	<b>158,438</b>	<b>6.0%</b>
MIRIVE	144,620	5.5%
TAA横浜	140,439	5.3%
JU埼玉	107,106	4.1%
CAA東京	107,066	4.1%
アライAAベイサイド	101,200	3.8%
TAA関東	100,329	3.8%

※2017年1月-12月実績

市場シェアの拡大と収益性の向上を目指し、JAAおよびHAA会場の設備投資を計画

HAA会場



JAA会場

2019年5月  
オークション会場の新築建替を計画





# 2019年3月期 連結業績予想

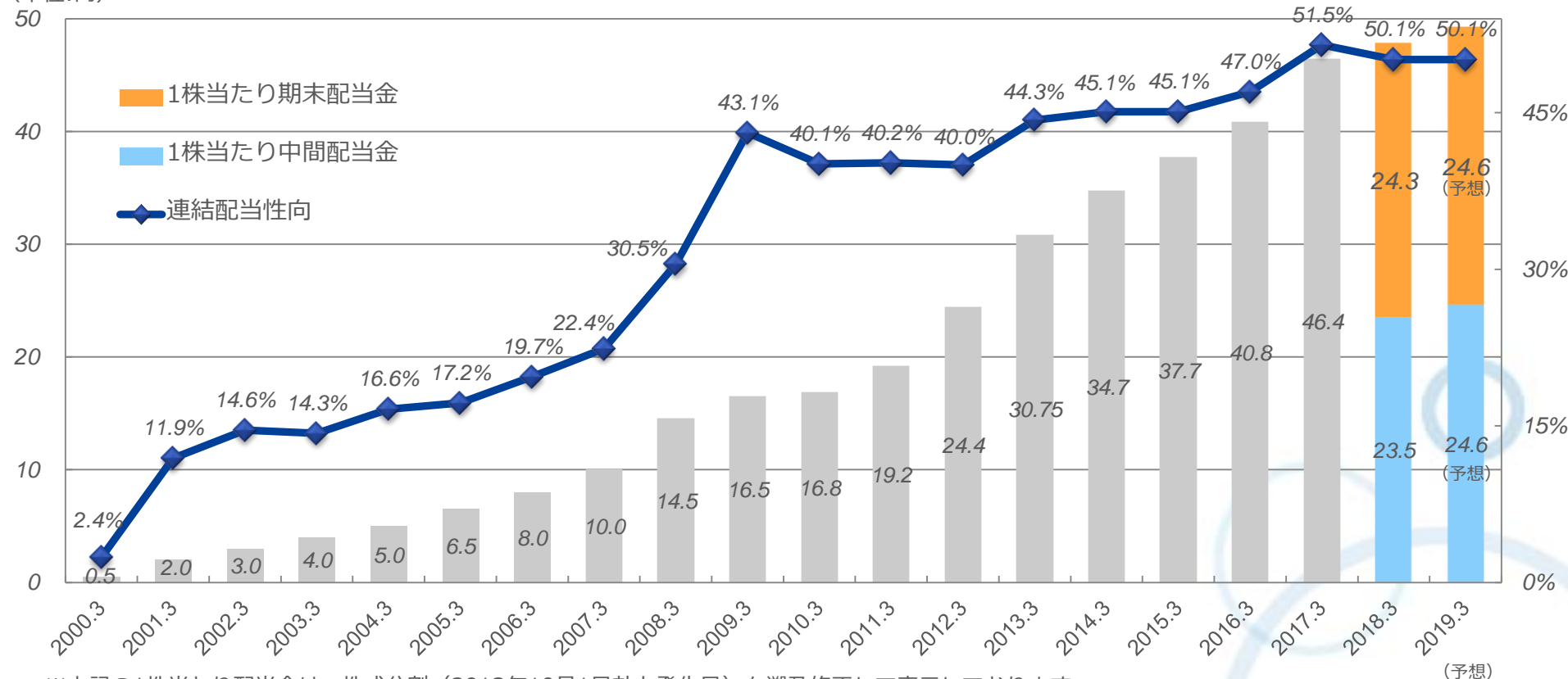
(単位：億円)

	2017.3 (実績)	2018.3 (実績)	2019.3 (予想)	前期比
売上高	671	751	800	106.4%
売上総利益 (売上比)	407 (60.7%)	459 (61.2%)	491 (61.4%)	106.9%
営業利益 (売上比)	323 (48.2%)	360 (48.0%)	373 (46.6%)	103.4%
経常利益 (売上比)	329 (49.1%)	366 (48.8%)	378 (47.3%)	103.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(売上比)	229 (34.1%)	242 (32.3%)	250 (31.3%)	102.9%
1株当たり 当期純利益 (円)	90.02	95.59	98.38	102.9%

# ～株主還元～ ①配当政策について

1. 配当に関する基本方針 連結配当性向 **50%以上**
2. 2019年3月期の1株当たり配当予想 **49.2円** (前期比1.4円増配)
3. 上場以来 **19期連続増配予想**

(単位:円)



※上記の1株当たり配当金は、株式分割（2013年10月1日効力発生日）を遡及修正して表示しております。

# ～株主還元～ ②配当利回りについて(シミュレーション)

1株当たり年間配当額 **49.2円** (2019年3月期予想)

株価 **2,096円** の場合、年間配当利回り  $\div$  **2.34%**

(2018年7月20日 東京証券取引所終値)

株主優待を考慮すると・・・

100株 (500円のクオカード1枚 (年2回) ) の場合

①年間配当額 4,920円

②年間株主優待相当額 1,000円 (500円相当×2回)

① + ②計 **5,920円** / **209,600円**

$\div$  **2.82%** (配当利回り+優待利回り)

年間配当利回りにつきましては税引き前の配当金を対象としています。

ご購入の際に必要な、証券会社の売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

# ～株主還元～ ③株主優待商品(年2回)

100～499株  
QUOカード (500円1枚)



500～999株  
三井住友VJAギフトカード 2,000円分



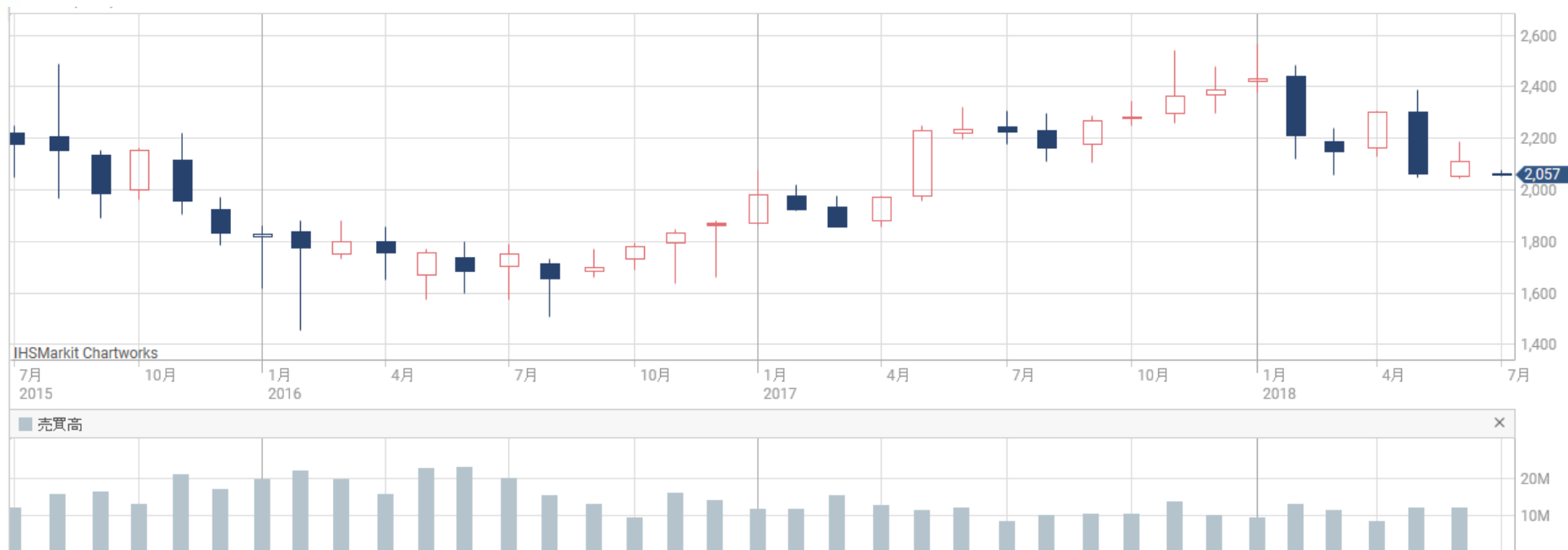
1,000～9,999株 カタログギフト 5,000円相当



10,000株～ カタログギフト 10,000円相当



2015年7月1日～2018年7月1日



※このグラフはインターネットよりダウンロードしています。  
<http://www.nikkei.com/nkd/company/?scode=4732>



日本取引所グループ及び東京証券取引所と日本経済新聞社は、新たな株価指数「JPX日経400」の算出を2014年1月6日より開始。**USSは、この株価指数の構成銘柄の組み入れ銘柄に選定されました。**

名称	JPX日経インデックス400（略称：JPX日経400）
構成銘柄数	400銘柄
対象銘柄	東証上場銘柄（市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ）
特徴	資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「 <b>投資者にとって投資魅力の高い会社</b> 」で構成される新しい株価指数
銘柄選定	定量的指標としては、3年平均自己資本利益率（ROE）、3年累積営業利益、選定基準日時点における時価総額等でのスコアリング
定期入替実施日	2017年8月31日（木）
組み入れ銘柄 （東証業種分類「サービス業」）	<b>USS</b> 、ミクシィ、日本M&Aセンター、パーソナルHD、総合警備保障、カクコム、ディップ、エムスリー、ディー・エヌ・エー、博報堂DY、オリエントランド、リゾートトラスト、サイバーエージェント、楽天、リョウHLD、カネト、セコム、メテック、イオンデベロッップ

（出所：株式会社東京証券取引所HP「概要：JPX日経インデックス400」<[http://www.tse.or.jp/market/topix/jpx\\_nikkei.html](http://www.tse.or.jp/market/topix/jpx_nikkei.html)>）

中部企業の過去10年の配当の増加率ランキングに、上位の企業として取り上げられました。

順位	社名	配当総額	10年前比
1	VTホールディングス	21億円	10.4
2	アイカ工業	60億円	3.2
3	太平洋工業	16億円	3.1
4	豊田通商	330億円	3.1
5	ニチハ	22億円	3.0
6	セイノーHD	59億円	2.7
7	ユー・エス・エス	121億円	2.6

※中部3県に本社を置く3月決算の上場企業136社が対象（トヨタ自動車、金融除く）。  
2018年3月期の配当総額10億円以上で、08年3月期と比べ増加率が高い順にランキング  
※参考資料（「中部企業前期決算から」、日本経済新聞 2018-5-26 朝刊、31面）を当社にて抜粋

## 中部企業 前期決算から

▷

配当総額 5000億円規模に

成長と還元で企業価値を高める

順位	社名	配当総額 (億円)	10年前比 (倍)
1	VTホールディングス	21	10.4
2	アイカ工業	60	3.2
3	太平洋工業	16	3.1
4	豊田通商	330	3.1
5	ニチハ	22	3.0
6	セイノーホールディングス	59	2.7
7	ユー・エス・エス	121	2.6
8	豊田自動織機	465	2.5
9	パローホールディングス	23	2.5
10	アイシン精機	407	2.4
11	リンナイ	46	2.4
12	プラザー工業	140	2.3
13	デンソー	1,013	2.3
14	大同メタル工業	11	2.2
15	日本特殊陶業	126	2.1
16	リゾートトラスト	49	2.0
17	ジェイテクト	147	1.9
18	日本ガイシ	141	1.9
19	トーエネック	17	1.9
20	FUJII	36	1.9

(注) 中部3県に本社を置く3月決算の上場136社が対象（トヨタ自動車、金融除く）。2018年3月期の配当総額10億円以上で、08年3月期と比べ増加率が高い順にランキング

## 利益より伸び大きく

隊いだお金は極端にめ込まない。中部企業は成長投資と並ぶ、株主に支払う配当を増やしている。愛知、岐阜、三重県に本社を置く主要な中部企業（トヨタ自動車、金融除く）は2018年3月期の配当が計5000億円、10年前に比べ7割増を見込み。

率が高いことだ。中部企業は経営利益がリマン・比べ4割増えた。同じ期間の18年3月期は、事業で稼いだ利益の08年3月期に比べ7割増えた。配当総額の2018年3月期は、国内企業はトヨタ自動車を除き、平均で2018年3月期に比べ3割増えた。国内企業がトヨタ自動車を除き、平均で2018年3月期に比べ3割増えた。

名古屋証券取引所  
東証1部 00095-1243-3333  
東証2部 00095-1243-3333  
東証3部 00095-1243-3333  
東証4部 00095-1243-3333  
東証5部 00095-1243-3333  
東証6部 00095-1243-3333  
東証7部 00095-1243-3333  
東証8部 00095-1243-3333  
東証9部 00095-1243-3333  
東証10部 00095-1243-3333

株式会社ユー・エス・エス

〒476-0005

愛知県東海市新宝町507-20

統括本部 総務部

TEL : 052-689-1129

FAX : 052-604-1915

参考元  
(株)ユーストカー

## 〈当資料取り扱い上の注意点〉

本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。

将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しには、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

IRに関するご質問については、こちらより受けております。

<http://www.ussnet.co.jp/ir/contact.php>